

# 誘導のデジタル化

メンバー

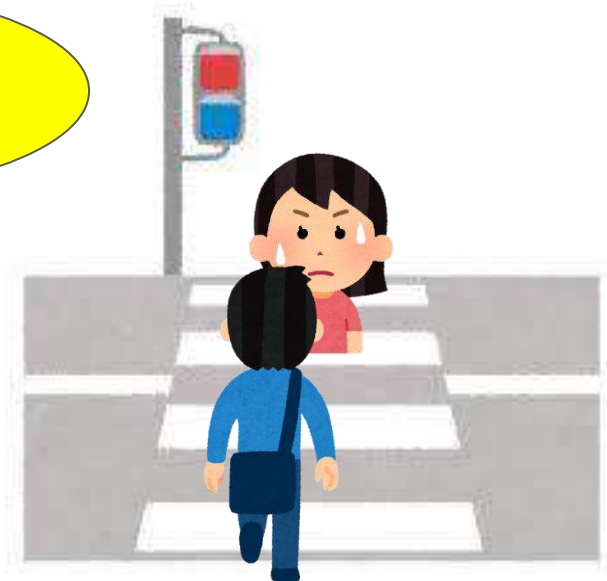
荒木麻帆  
高橋優木

志賀雄太郎  
高橋航己

課題

# 歩行における読み合い

ストレス



不安

# 課題の解決策

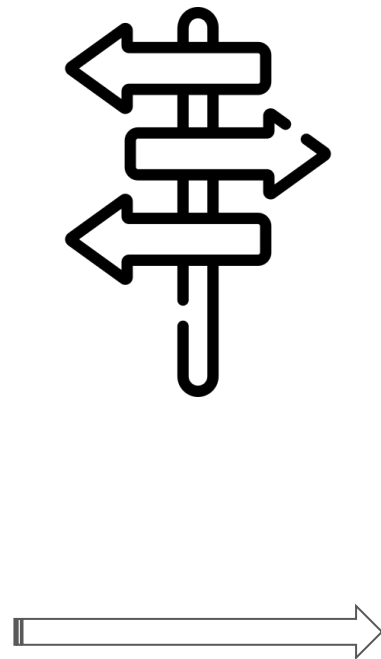
---

## 歩行者の誘導

方向を示す標識を設ける

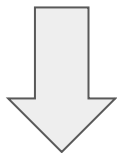
床に矢印を描く

etc.



# 現状

以上の手法は博物館などの管理できる  
空間で実現されているもの



横断歩道など管理しづらい空間において  
は難しい



# サービス内容

プロジェクターによる進行方向の可視化



歩行者の流れの効率化



# 検証方法と結果

- 10:20~10:40の時間帯で、新C棟1階の自動ドアと手動ドアから出ていく人数をそれぞれ計測
- 7/17以降はプロジェクターを併用し、未使用の時の結果を比較する

サービスなし	7/10 (月)	7/11 (火)	7/13 (木)
自動ドア(人)	51	25	66
手動ドア(人)	29	4	3
手動扉比率	0.36	0.14	0.04

サービスあり		7/18 (火)	7/20 (木)
自動ドア(人)			
手動ドア(人)			
手動扉比率			



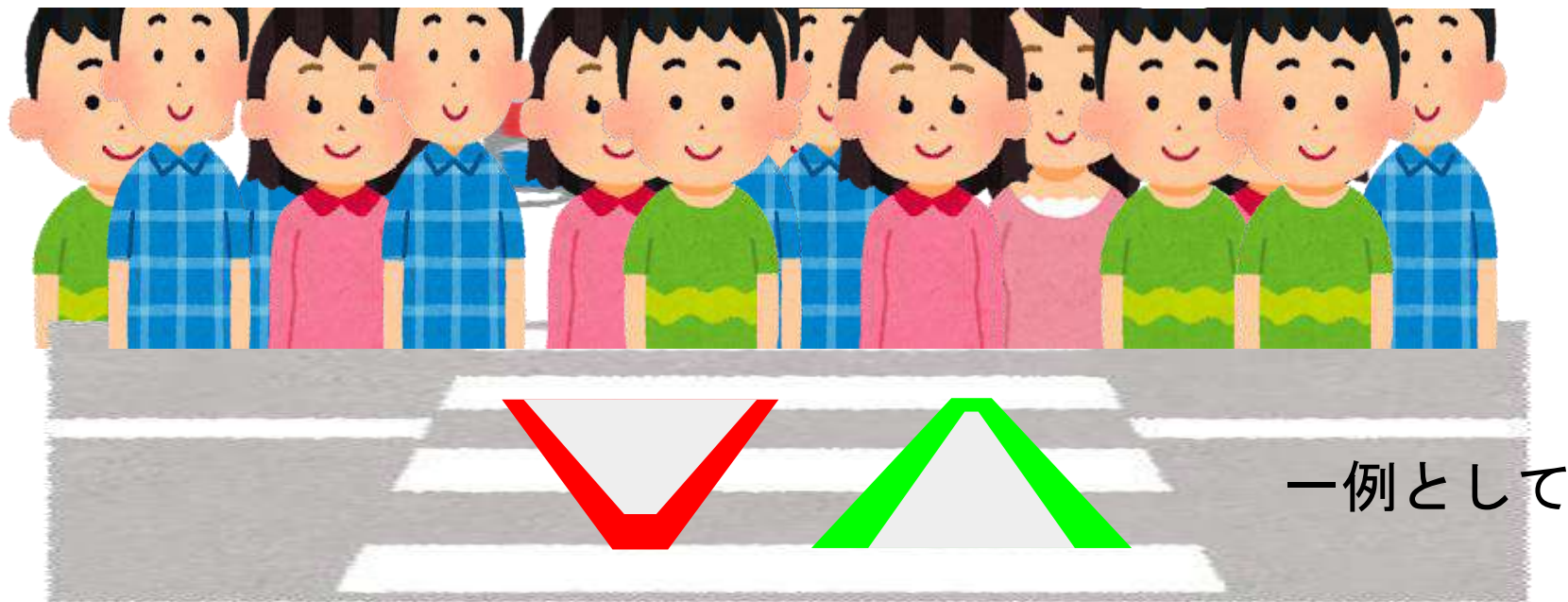
# サービス価値

負担軽減、衝突の回避、交通の誘導



# サービス価値

負担軽減、衝突の回避、交通の誘導





# ほかの手法との違い

---

看板、LEDランプ等が既に

- 柔軟な変更
  - 歩行者相手では重要なはず
  - お祭りなど
  - ソフトウェア的に
- メンテナンスも楽？



こういうのも？

# プロジェクトを選んだ理由

---

- 動画も可 

より強い誘導、より柔軟

- 特別な機材でもない

メンテナンス性

- ソフトウェアでの制御

誰でも扱える



無理

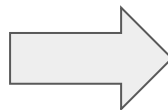


そもそも

# 展望

## イベント、祭りにおける活躍

- ・公道での導入
- ・AIによる表示管理



- ・歩行者誘導の自動化
- ・交通整理の自動化

管理費削減

人件費削減

# 出典

いらすとや

<https://jp.depositphotos.com/108103466/stock-photo-top-view-a-couple-girl.html>

<https://www.istockphoto.com/jp/イラスト/man-walking>